

これ知っとう？

わが町の宝物 第14回

くがきねんかん
須恵町立美術センター 久我記念館



展示されている須恵焼



時代は移り変わっても、守り続けていきたい自然・歴史・文化・人…
須恵町の大切な宝物をご紹介します。

【沿革】

当館は故・久我五千男(くが いちお)氏の私設美術館、「久我美術研究展示館」として、昭和54年(1979年)5月に竣工しました。

美しい湧き水があり、須恵焼の収集を行っていたことなどの条件が立地の決めてとなりました。

久我氏は昭和59年に急逝され、ご遺族のご厚意により、敷地・建物・記念資料を須恵町に寄贈していただきました。昭和61年8月に「須恵町立美術センター久我記念館」と改称して現在に至っています。

【収藏品】

須恵焼：2階に常設展示されています。江戸時代から明治にかけて須恵町大字上須恵で焼かれた磁器です。幕末の11代藩主黒田長溥の代に「磁器御用窯」となりました。

絵画：その時々作家の秀作が展示されています。

【企画展】

1階は期限を設けて、数々の展示が行われます。筆者が訪問したときには、九州産業大学造形短期大学部の大判サイズの写真が展示されており、山笠関連の美しく高解像度の作品に感激しました。

【その他】

町内の幼稚園、小・中・高校や、町外の大学などと連携し、多彩なアート(ワークショップ、音楽、演劇)に触られる場として、地元の人に親しまれています。

北九州市や大川市にくらべ、人口2万8千人の小さな須恵町がもつ公設美術館として、福岡県内ではその存在が際立っています。

所在地：須恵町須恵77番地1
電話：092-932-4987
開館時間：午前10時～午後5時(ただし、入館は4時30分まで)
入館料：無料(無料駐車場約30台)
休館日：月曜日(休館日が祝祭日の場合は、その翌日)、盆と年末年始



館長の荒木照信さん(写真左)と学芸員の山下啓之さん(写真右)にお話を伺いました。

編集後記

今年、猛暑で始まり水害・台風・地震とたび重なる天災に見舞われ、日本全国に警報が発令されました。須恵町でも7月5日から7日に豪雨に見舞われ、数地区で避難所の開設となりました。幸い大きな災害は起こりませんでした。が、今後の大きな教訓となり、この経験を忘れることなく生かしてほしいものです。

町長も6月議会で災害に強い町づくりを目指すとは表明されていますが、平成最後の年にこれだけの天災が起きたことに心して、自分の命を守るために、日頃よりどこに逃げれば安全かを常に考えておかなければなりません。

町でも、今後各地区で災害対策がとられると思いますので、これに各人が参加して行動できるように備えましょう。

三角 栄重

発行責任者

議長：三角 良人

広報特別委員会

委員長：今村 桂子

副委員長：白水 勝元

委員：合屋 伸好

委員：三角 栄重

福岡県須恵町議会だより Vol.208

【発行】 福岡県須恵町議会 【所在地】 〒811-2193 福岡県糟屋郡須恵町大字須恵771番地

【TEL】 092-932-1151 (内線 411 議会事務局) 【FAX】 092-933-6579

【印刷・製本】 株式会社三光

2018
11
November

